

平成30年度事業計画

永山こどもの杜保育園運営計画

所在地 旭川市永山11条4丁目119-49
認可定員 19名（確認定員 3号19名）
職員数 10名（他嘱託医2名）

1、保育目標 『明日を創り出す力を持った子』

- ◎ 身の回りのことが自分でできる子
 - ・自分でできることは、進んでする。
 - ・食事、排泄、睡眠、着脱衣、清潔などの正しい習慣を身に付ける。
- ◎ のびのび明るく元気な子
 - ・豊かな愛情と見守りの中で、情緒が安定し夢中になって遊ぶ。
 - ・快活に体を動かし自らの安全を守り、危険回避する力を身に付ける。
 - ・全身を使った運動をして、平衡感覚の獲得と体力・運動能力の向上を目指す。
- ◎ よく考える子
 - ・自然への興味や関心を持ち、感覚を豊かにして自らの生活に取り入れていく力を身に付ける。
 - ・生活の中の言葉や文字に興味や関心を持ち、思考力や表現力を身に付ける。
 - ・仲間との経験から豊かな感性を持ち、創意工夫を重ね、遊びを発展させる力を身に付ける。
- ◎ 仲間を思いやり、大切にできる子
 - ・友だちとの関わりの中で、相手の話を注意深く聞き、自主協調の態度を身に付ける。
 - ・物事の善し悪しを判断し行動する。
 - ・困難に挑戦する心と我慢する心を持つ。

30年度の保育重点目標

- ★ 発達に即した適切な環境設定と働きかけにより、自主的な活動を促す。
 - ★ 発達段階に応じて求められる自己統制、社会性の獲得を促す。
 - ★ 改訂保育所保育指針に沿った保育課程、指導計画の編成実施と評価反省
 - ☆ 個別支援計画の実効性ある策定と保護者支援。
 - ☆ 地域子育て支援(園開放、ほっとマミィ)の実施
- ほっとマミィ実施にあたっては、旭川あかしあ認定こども園及び旭川市母子保健課、関係医療機関と連携を図り、家庭における乳児保育支援を行う。
(ほっとマミィは、旭川あかしあ認定こども園の子育て支援事業として、永山こどもの杜保育園にて行う事業である。)

指導者学習計画

- ① 一人ひとりの発達段階に配慮した指導案の作成の仕方、記録の仕方、活かし方について学びあい実践に移し、適切に自己評価を行う。
- ② 毎月の会議を持ち、充実した保育活動及び園運営の円滑を計る。
- ③ 各種研修会に進んで参加し、保育実践に役立てる。
- ④ 定期的な職員の話し合いの場を設け、指導計画の評価と見直しの実施。
- ⑤ 園内研修の充実をはかる。（指針と計画の連動、保育実技など）

2、教育・保育時間

- ① 午前7時30分から午後6時30分までの保育標準時間
- ② 午前8時30分から午後4時30分までの保育短時間

上記の2区分の教育・保育認定に従って行う。

但し、延長保育対象児童については②の前後の保育標準時間までの間で延長保育を行う。

3、教育・保育内容

保育環境をととのえるため、年齢別に

0 歳 児 ～ 保育士 2 名	1 歳 児 ～ 保育士 1 名
2 歳 児 ～ 保育士 1 名	フ リ ー ～ 保育士 1 名

以上のようにクラス分けし、保育課程を基礎とし保育目標に従って年間指導計画、月案及び週案を作成し保育業務を進めるとともに、毎月、保育の効果について評価し、適切な園児処遇に努める。

又、健康と基礎となる栄養及び保健に対しては特に注意を払い、保護者に対し適宜栄養及び保健指導を行う。

年間の行事としては、季節を考慮した内容を中心に行う。

4、職員名簿

園 長	国木 美佳子
主任保育士	那須 史子
保 育 士	入山 名津子 林 有紀 津田 雪乃
	(石森 有紗 ほっとマミィ対応)
非常勤保育士	笹村 恵美 大橋 斗紀恵
子育て支援員	紙谷 貴子 滝川 理恵
臨時栄養士	酒井 登志恵

5、資金計画

地域型保育給付費及び利用者負担金、補助金（旭川市～保育体制充実費）及び一般寄付により運営する。

6、中期事業計画（平成29年～平成31年）

① 施設・設備関係

・保育室環境の充実

従前の保育環境と異なる点について、子どもの視点に立っての充実を図る。
特に、安全面において施設及び備品の準備や改良について検討する。

② 園児処遇関係

- ・小規模保育の良さが生かせるよう、小グループの設定を行い安心して過ごせるようにする。
- ・ほっとマミィの実施施設として、乳児の無償一時預かりを1歳に到達するまでの間で、一人4時間利用8回程度を上限に実施する。

③ 職員処遇関係

・必修的な研修と園内研修の実施

○職位職階に応じ、初任者・乳児・障害は全職員が順次受講

○上記の研修の他、独自の研修にも可能な限りパート職員も含め参加する

○キャリアアップ要件に関する研修の参加

- ・保育業務マニュアルの読み込みと改訂に対する意見提出
- ・保育所自己評価に対する取り組みと手法の確立